**ヤンマーミュージアム**

ヤンマーミュージアムのハイテクでゲームベースの展示は、親子で人気があります。バックホウの操作や、体を動かしてエンジンのピストンを動かすなど、ゲームのようなそれぞれの課題は、エコロジー、イノベーション、および最新テクノロジーの恩恵に基づいています。訪問者には、個人的な「ヤンマーカード」が発行され、チャレンジを完了することで獲得するポイントにより、達成状況を把握できます。各プレーヤーの合計ポイントは、トップの得点者と共に、巨大なビデオ画面に表示されます。

ヤンマーミュージアムは、発明家兼エンジニアの山岡孫吉(1888–1962)によって設立された機械の会社であるヤンマーによって創設されました。山岡は、現在長浜市の一部である南富永村で生まれました。山岡は、世界初の小型ディーゼルエンジンを開発し、ヤンマーはその技術を、建設機械や農業機械、船舶、発電機などに応用しました。ヤンマーミュージアムのインタラクティブな展示(バーチャル農業、ウェイクサーフィン、デジタル漁業、「持続可能なエネルギー」クライミングウォールなど)は、「大地」、「海」、「都市」という同社の3つのコアテーマを反映しています。

博物館の建物の併設レストラン、プレミアムマルシェびわ湖では、持続可能な方法で栽培された米を中心とした料理を提供しています。2階には、会社の歴史を紹介する従来の博物館の展示があります。